

本沢のいいところ

五年 富田 七美

今年私たち五年生は、米作りをしました。本沢にはたくさんのおんぼがあります。その中の一部で、田植えや稲刈りの体験をさせていただきました。社会科で、農家さんはなえ作りから始まり、土を整えていくことを学習しました。そしていよいよ五月二十六日田植えをしました。みんな泥だらけになりながらも、なえを一生懸命にいてねいに植えました。田んぼの高橋先生が、優しくいてねいにわかりやすく教えてくださるので、五年生みんなが、ちゃんと育てようという気持ちになります。それから六回、田んぼに行つて稲がどのくらい大きくなつていくか観察に出かけました。夏休みにも二回観察会がありました。

稲が頭をたれ、米になつていくのがわかりました。そして十月十二日、稲刈りをしました。稲のかり方も、高橋先生が実際にやつて見せてくださったので、とても楽しく活動できました。稲をたばねるのは、ちょっと難しかったです。

本沢には、米作りの他にもいいところがたくさんあります。特に私がいいと思つているのはあと三つあります。一つ目は、おいしいぶどうです。本沢では、たくさんのお農家の人がぶどうを作つています。デラウエアやマスカットなど、たくさん作つています。本沢小でも六年生が安芸クイーンというぶどうを作ります。水や管理などは大変そうですが、給食で出される農家さんからいただいたデラウエアや六年生が作った安芸クイーンはとてもおいしいです。二つ目は、青菜漬けです。青菜は、本沢地区の人が大好きなつけ物です。本沢小では、三年生が作ります。種から育てて収穫し、完成させます。少し辛くてご飯に合う味になっています。これも、給食でいただきます。三つ目は、人々が親切で優しいことです。朝登校するとき、必ずあいさつをしてくれます。あいさつをすると、遠くにいても、笑顔で明るくあいさつを返してください、毎日すっきりして登校することができます。けがをした時などに、

「大丈夫か？」

と優しく声をかけてくれて、気持ちが明るくなったこともありました。

私は、親切で明るく、優しく教えてくれる人がたくさんいる本沢地区が大好きです。私も本沢地区の一員として、優しい人でいられるようにがんばりたいです。